

# 中期経営計画

(2025年3月期－2027年3月期)

# 経営目標

持続的成長へ

2025.3 – 2027.3  
新中期経営計画  
2027年3月期計画

売上高	500億円
営業利益	77億円
営業利益率	15.5%
ROE	13%以上

2022.3 – 2024.3  
2024年3月期実績

売上高	371億円
営業利益	57億円
営業利益率	15.4%
ROE	10.8%

2019.3 – 2021.3  
2021年3月期実績

売上高	292億円
営業利益	38億円
営業利益率	13.2%
ROE	10.0%

01

持続的な成長への戦略投資

02

事業競争力を重視した成長戦略

# (1) 持続的な成長への戦略投資

新中計の3年間 成長を加速させるための戦略的な**大型投資を実施**

①山形 半導体事業生産棟  
2027年1月 稼働開始



投資  
35~40  
億円

★福島 2事業生産棟  
2028~2029年頃 稼働開始



投資  
約40億円

※分析機器事業・半導体事業との共同工場を構想中

②福島 半導体事業生産棟  
2026年4月 稼働開始



投資  
20億円

③埼玉 分析機器事業生産棟  
2025年10月 稼働開始



投資  
12億円

# (1) 持続的な成長への戦略投資

売上高設備投資比率

14.9%

中期経営計画の3期計画値

7.2%

直近3期実績

※算出方法：  
設備投資額 ÷ 売上高

投資総額  
約100億円



①山形県山形市  
【半導体事業】  
投資額35～40億円  
2027年1月 稼働開始

③埼玉県入間市  
【分析機器事業】  
投資額12億円  
2025年10月 稼働開始

②福島県喜多方市  
【半導体事業】  
投資額20億円  
2026年4月 稼働開始

★福島県伊達市  
【分析機器・半導体事業】  
投資額40億円  
2028～2029年頃 稼働開始

フル稼働時の  
売上高増加額  
約90億円



①山形県山形市  
火加工の生産能力増強  
既存蔵王工場比：約2倍

③埼玉県入間市  
カスタムメイドGC装置の  
生産能力増強  
既存武蔵工場比：約3倍

②福島県喜多方市  
機械加工の生産能力増強  
既存アイシンテック工場比  
：約1.5倍

★福島県伊達市  
GC装置等の生産能力拡充  
半導体事業の生産能力増強  
既存対象工場比：約3倍

※GC：ガスクロマトグラフィー

## (2) 事業競争力を重視した成長戦略

### 分析機器事業

- 01 海外販売の強化
- 02 国内市場の拡充
- 03 R&D部門の強化



### 半導体事業

- 01 生産能力増強と効率最大化
- 02 持続可能な収益性の向上
- 03 新規顧客と市場の開拓



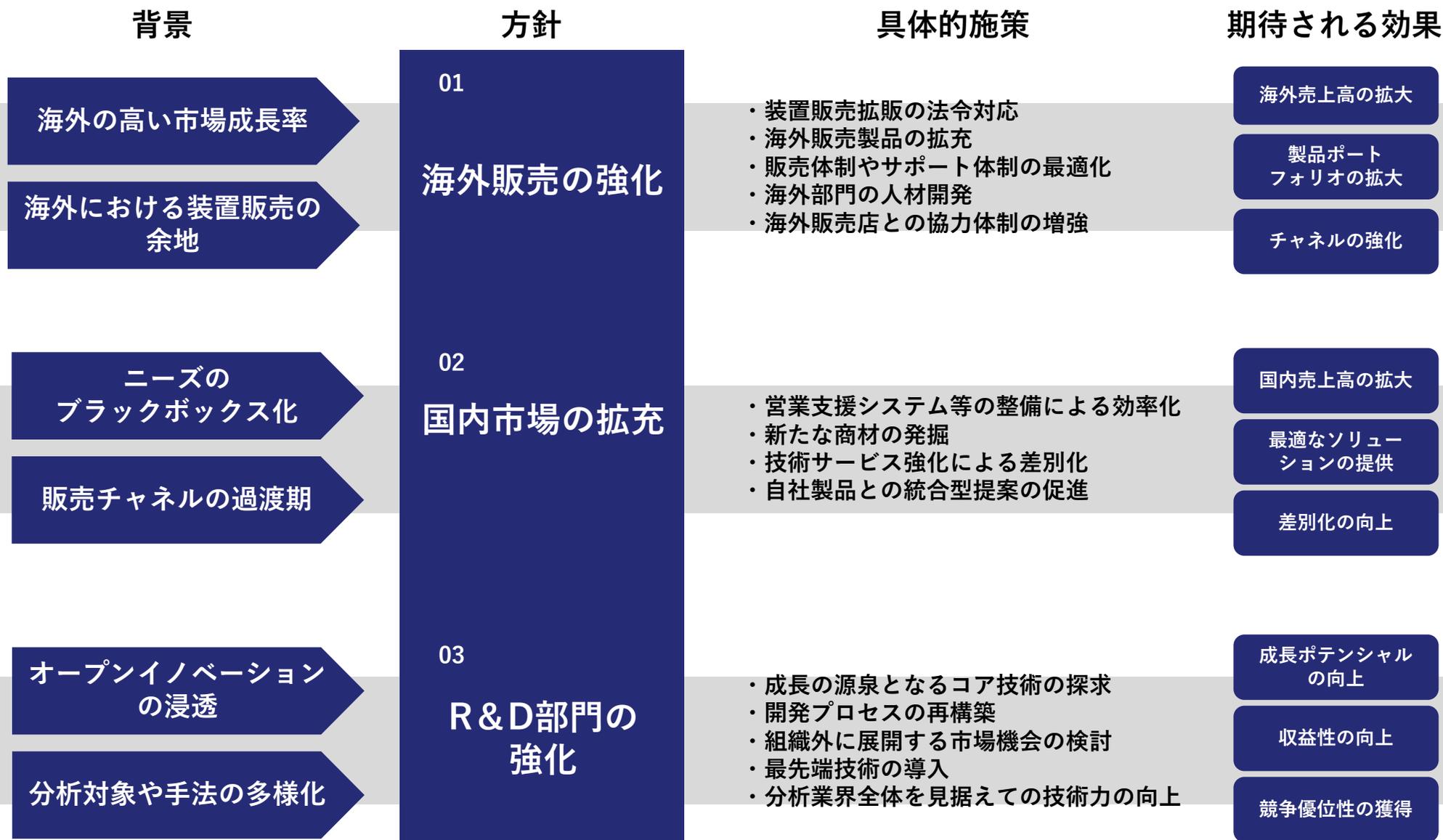
### 自動認識事業

- 01 RFID関連製品のライン・チャネル拡大
- 02 技術トレンドの取り込み
- 03 経営基盤の強化



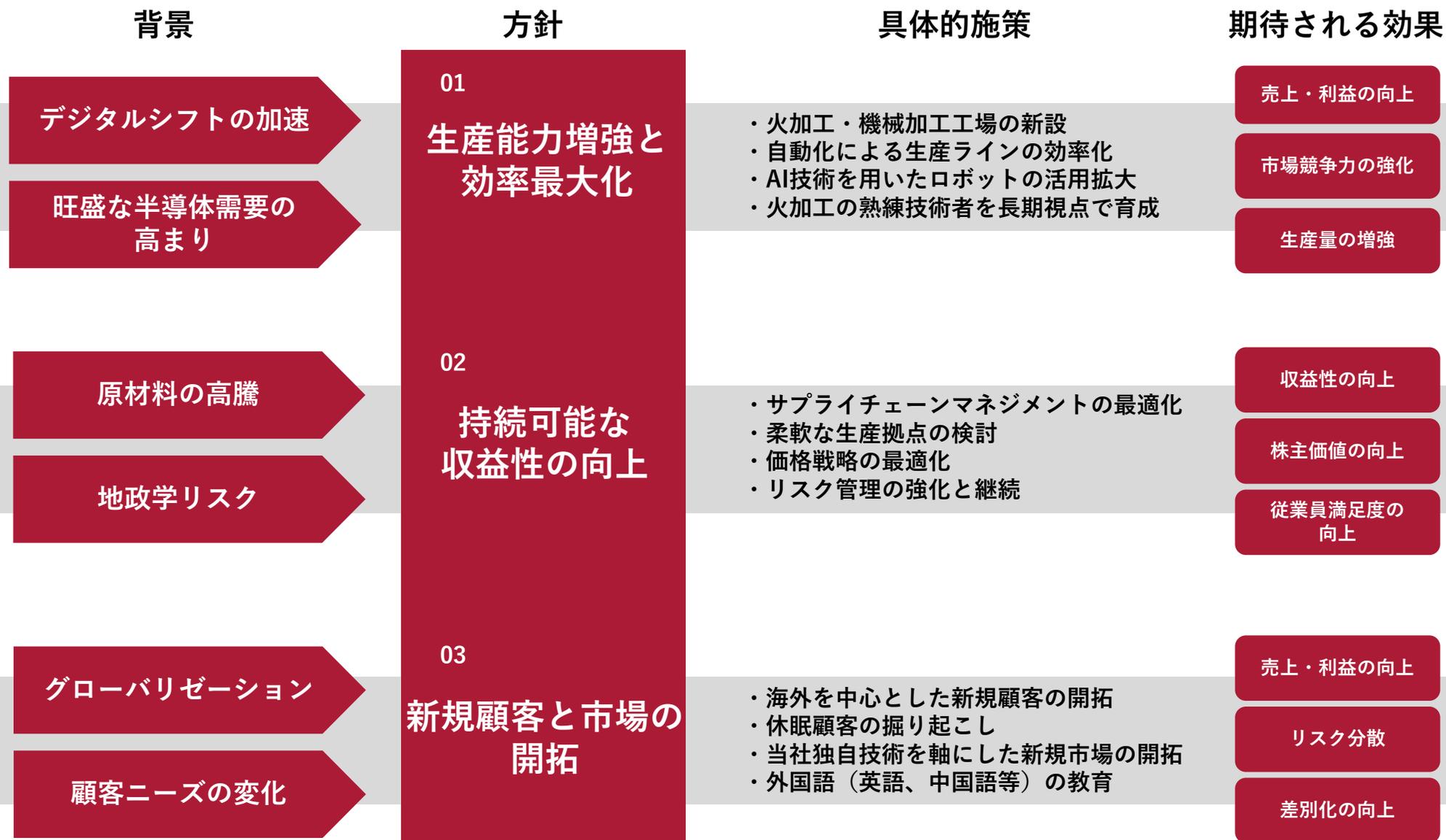
## (2) 事業競争力を重視した成長戦略

### 分析機器事業



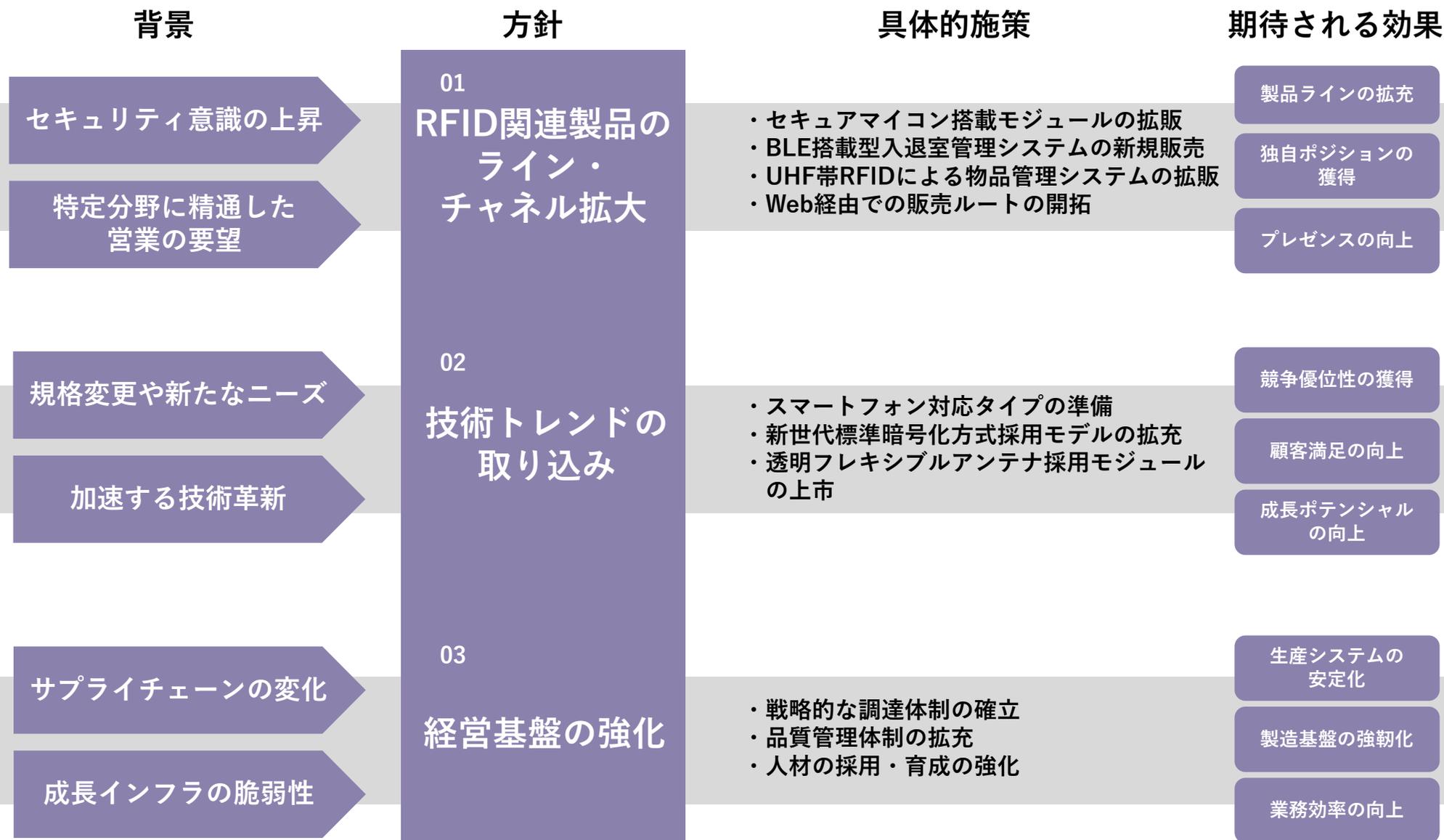
# (2) 事業競争力を重視した成長戦略

## 半導体事業



## (2) 事業競争力を重視した成長戦略

### 自動認識事業



# 事業セグメント別 売上目標

## 売上高

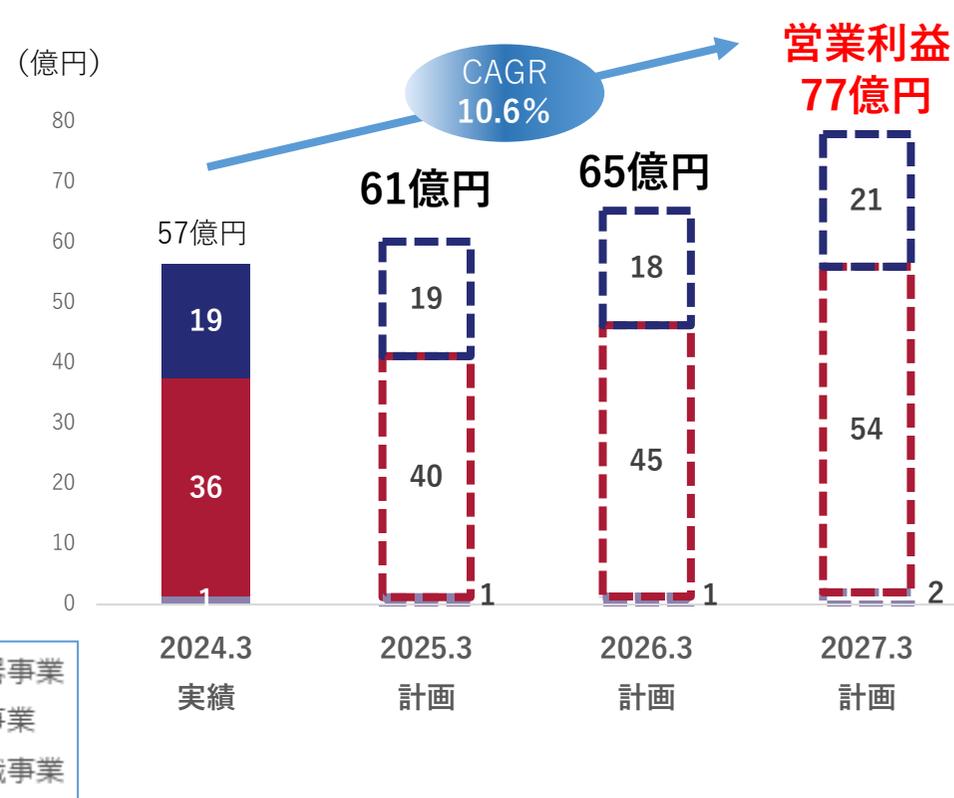
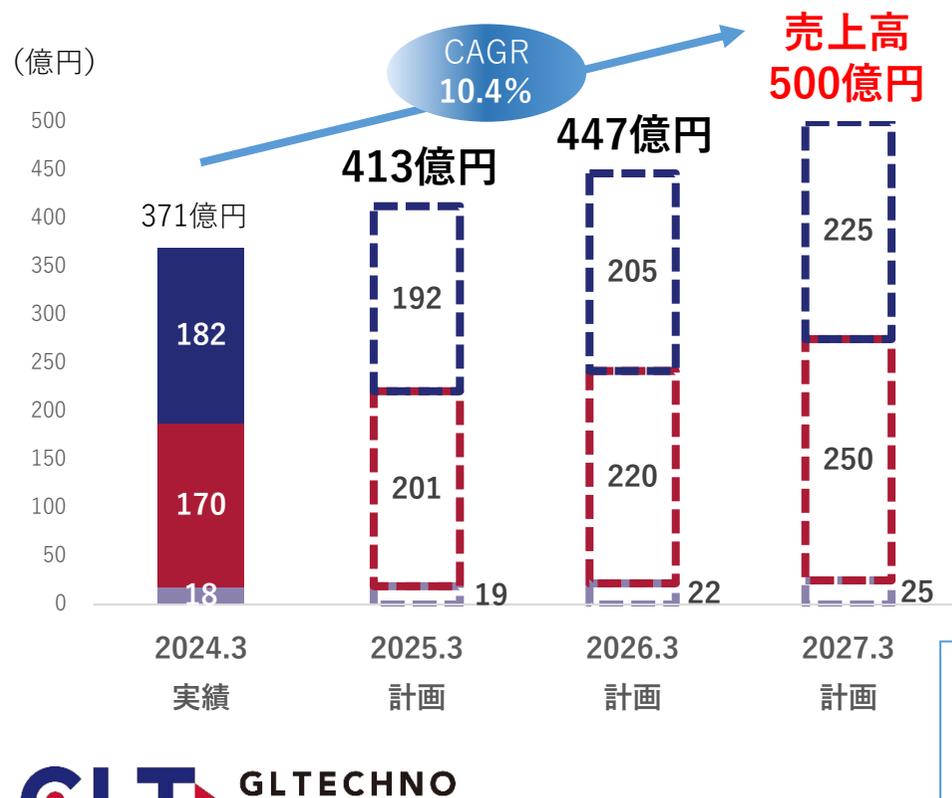
売上高 (百万円)	2024.3 実績	2025.3 計画	2026.3 計画	2027.3 計画	増加率	CAGR
分析機器事業	18,281	19,200	20,500	22,500	23.1%	7.2%
半導体事業	17,029	20,160	22,000	25,000	46.8%	13.7%
自動認識事業	1,836	1,960	2,200	2,500	36.2%	10.8%
全社	37,148	41,320	44,700	50,000	34.6%	10.4%

※増加率・CAGR:2024.3-2027.3比較

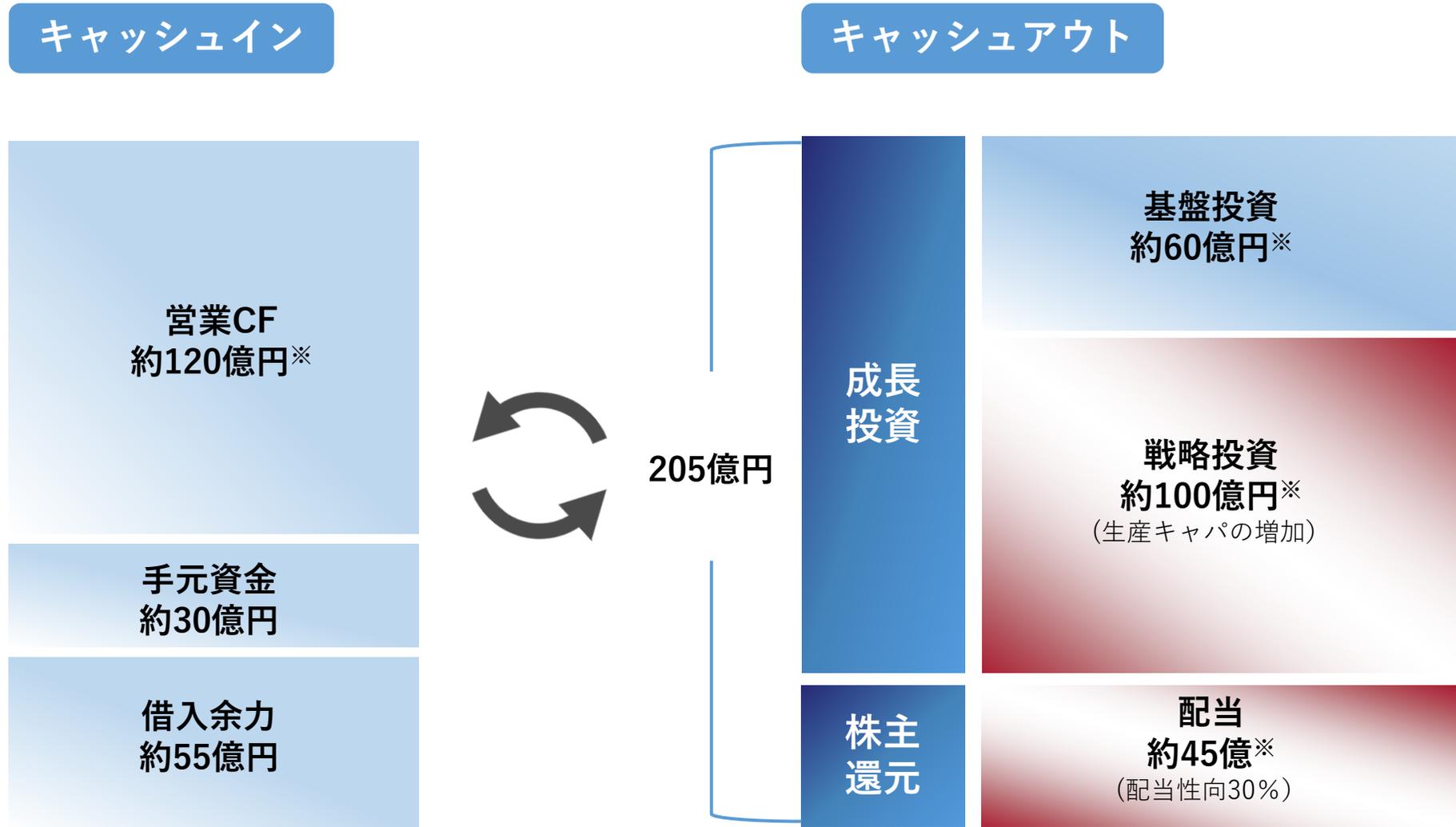
## 営業利益

営業利益 (百万円)	2024.3 実績	2025.3 計画	2026.3 計画	2027.3 計画	増加率	CAGR
分析機器事業	1,962	1,950	1,853	2,108	7.4%	2.4%
半導体事業	3,615	4,070	4,531	5,431	50.2%	14.5%
自動認識事業	134	120	133	200	48.7%	14.1%
全社	5,714	6,140	6,518	7,739	35.4%	10.6%

※増加率・CAGR:2024.3-2027.3比較



# 資本政策（キャッシュアロケーション）



※2025.3－2027.3 累計値

持続的成長と企業価値最大化に向けた成長投資を最優先します

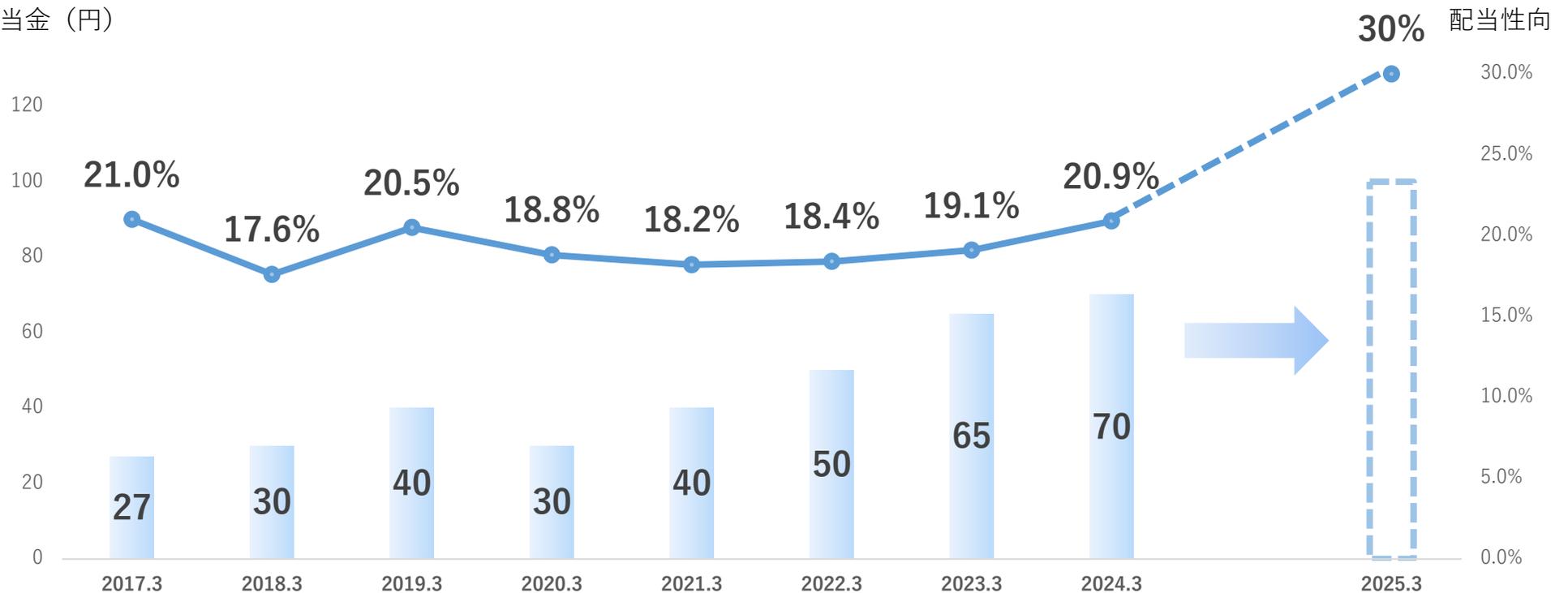
# 資本政策（株主還元）

## 基本方針

## 配当性向30%を目標

今後の事業拡大と内部資金の確保と株主各位への長期にわたる安定的な配当を念頭に、財務状況・利益水準・配当性向などを総合的に勘案して実施

配当金（円）



※2024.3以前の配当金は、ジーエルサイエンス(株)における配当金を記載しています

# サステナビリティ基本方針

## 基本理念

ジーエルテクノグループは、『真に社会性のある企業への成長』という「企業理念」のもと、社員が働くことへの幸せを感じる環境作り、持続的企業発展のための創造や挑戦、製造改善や新技術による環境問題への取組を通じた社会貢献を行っていきます。また、得られた利益は「会社・株主・社員・社会」に公正に分配し、技術や利益をもって「地球と社会の持続可能な発展」へと貢献します。  
『道は一つ、共に進もう』を永久スローガンとし、ステークホルダーと共に社会課題解決に取り組んでいきます。

## 基本方針

Ⅰ 持続的な企業価値の向上	変わり続ける事業環境の中で、レジリエンスを高め柔軟に対応することで、競争力および生産性の向上を実現します
Ⅱ 環境保全への貢献	気変動への対応、循環型社会への取組など、ステークホルダーとの協働・共創を推進し、より良い未来の実現を目指します
Ⅲ 事業を通じた社会課題の解決	本業の活動を通じて、社会貢献を持続的に推進します
Ⅳ 企業活動を支える人材の育成と活躍の推進	お客様の課題解決のために挑戦を続け、社会に貢献できる人材を育成しやりがいと誇りをもって安全・健康に働くことができる環境を提供します
Ⅴ ガバナンス体制の強化	法令をはじめとした社会のルールを遵守するだけでなくすべてのステークホルダーからの期待に応えるよう努めます